

平成22年度 学校自己評価表

栃木県立鹿沼商工高等学校・全日制

教育目標	身体を鍛え学習に励み、豊かな教養と人間尊重の精神とを身に付けた、国際的な視野を持つ産業人を育てる			
本年度の努力点	(1) 生徒を常に教育の中心におき、学校の活性化に努める。 (2) 指導内容の精選と指導方法の工夫改善に心掛け、学習習慣の確立を図る。 (3) 基本的な生活習慣を確立させ、自律的な態度を育成する。 (4) キャリア教育を踏まえた進路指導の充実を図る。 (5) 部活動やホームルーム活動、生徒会活動を充実させ、協力的な生活態度を育成する。			
評価基準	十分満足できる…A 概ね満足できる…B 努力を要する…C 一層努力を要する…D			
評価項目	重点目標	具体的取組	評価	
学校運営関係	教務	1 学校行事を効果的に実施し授業時間を確保する。	○ 年間行事の精選を図る。 ○ 曜日毎の実授業日数表を作成し、学期・年間の平準化を図る。	B
		2 部・科・学年との連絡調整協力体制を確立する。	○ 各部・各科・各学年から意見を収集し、調整を図る。 ○ 行事の実施に当たっては、関係係との連携、緊密化を図る。	B
		3 校内諸規定を見直す。	○ 今年度から校内諸規定の見直しを行い、円滑な学校運営を図る。	A
		4 学校評価をスムーズに実施する。	○ 評価計画に当たって、適切な評価項目を検討する。 ○ 学校評価を教育活動の改善に役立てる。	B
学習指導関係	学習指導	1 分かる授業を心掛け、授業の充実を図る。	○ シラバスを活用し、学習意欲を高めさせる。 ○ チャイムtoチャイムの徹底を図る。 ○ 生徒の授業アンケートをもとに指導内容、方法の工夫改善を図る。	B
		2 自主的・意欲的な学習態度を育成する。	○ 授業・課外の充実を図り、上級資格取得を目指させる。 ○ 定期テスト時の家庭学習時間等を記録させ、家庭学習を定着させる。	B
	読書指導	3 図書館利用の活性化を図る。	○ オリエンテーションを充実させ、利用しやすい雰囲気を作る。 ○ 朝の読書を通して、読書習慣を身に付けさせる。	B
生活指導関係	生活指導	1 基本的な学校生活を確立させる。	○ 欠席・遅刻・早退指導を徹底し、登下校指導を実施する。 ○ 頭髪・服装指導を徹底し、学期毎の全体指導を実施する。 ○ 携帯電話の使用方法を徹底する。	B
		2 校則及び社会規範を遵守させ、望ましい生き方を身に付けさせる	○ 問題行動の未然防止に努め、発生件数、人数を減少させる。 ○ いじめ・暴力行為に関する指導を徹底する。 ○ 「駄目なものは絶対駄目」の共通認識と指導を徹底する。	B
		3 交通法規を遵守させ交通事故防止を図る。	○ 安全教育を実施し、事故防止の啓発に努める。 ○ 街頭指導や交通安全強化週間を実施し、交通事故防止に努める。	B
		4 生徒理解に努め、生徒一人一人を大切にした指導の推進を図る。	○ 個人面接を通してコンサルテーション活動を充実する。 ○ ケース会議を実施し、チーム対応を強化する。	B
特活指導関係	生徒会	1 学校行事を充実する。	○ 生徒を学校行事に積極的に参加させる。	A
		2 生徒会活動を活発化する。	○ 生徒が主体的に企画運営できるよう指導する。	B
		3 庶務会計を整備する。	○ 会計を適正に行い、必要な記録を残すようにする。	B
	部活動	4 部活動を活発にする。	○ 一人一部加入を推進し、加入率の向上を図るとともに協力的な生活態度を育成する。	B
		5 LHRの充実と各種委員会を円滑に運営する。	○ LHR年間計画を充実させる。 ○ HR活動を活性化させる。 ○ 各種委員会の充実を図る。	B
		6 和親館の活用を促進する。	○ 施設を活用して、部活動等の生徒活動を活発にする。	B
キャリア教育関係	進路指導	1 将来のあり方・生き方について自覚を深めさせる。	○ 進路の手引きを積極的に活用し指導する。 ○ 進路ガイダンス・進路講話を通して、生き方を考えさせる。 ○ 進路内定後に生涯学習を見据えた自己能力開発への指導を行う。	B
		2 主体的な進路決定ができるようにする。	○ 3年生の進路ガイダンスの充実を図る。(回数、内容) ○ 自分の進路を考えてインターンシップに取り組みさせる。	B
		3 職業の意義と自己の適性の理解を図る。	○ 1年次に職業ガイダンスを実施する。 ○ インターンシップや進路講話を通して、職業理解の深化を図る。 ○ 生徒面談を増やし、個別相談の充実を図る。	B
		4 基礎学力の充実と面接指導の徹底を図る。	○ 基礎学力診断テスト等の結果を学習指導に活かす。 ○ 担任の面接の統一化をすることにより、生徒一人一人に対応した進路指導を充実させる。	B
情報関係	情報部	1 情報教育を推進する。	○ 学校間ネットワークについて教員の理解を深め、メールソフト、掲示板システム等の使い方の講習会を実施する。	A
		2 マルチメディア機器、インターネットを利用した授業を促進する。	○ 学校HPを更新する。 ○ 視聴覚教材を用いた授業の研究会に参加する。 ○ インターネットを使用した授業の研究を推進する。	B
		3 情報機器の管理・整備を推進する。	○ 機器点検マニュアルを作成し実施する。	B

評価基準		十分満足できる・A	概ね満足できる・B	努力を要する・C	一層努力を要する・D	
評価項目	重点目標	具体的取組			評価	
健康関係	健康指導	1 定期健康診断の結果を有効に活用し健康指導の徹底を図る。	○ 定期健康診断の受診、再検を徹底し、結果について関係職員との連携を図りながら指導を継続していく。 ○ 学校保健委員会を有意義に実施する。			B
		2 環境衛生に努め、安全意識の徹底を図る。	○ 施設・設備の校医による安全点検を実施し、事故防止に努める。 ○ 光化学スモッグ・熱中症等の有害環境条件被害の防止に努める			A
環境関係	環境指導	1 環境美化の精神を育む。	○ 校舎内外の清掃を徹底し、ゴミの分別・減量に努める。 ○ 美化委員会の活動を推進する。			B
		2 学習環境を整備する。	○ 毎月の安全点検を実施し、施設設備を点検、修理し、生徒の安全を確保する。			A
		3 防火・防災体制を整備する。	○ 防火・防災訓練を有効かつ円滑に実施する。			A
渉外関係	PTA	1 保護者に学校の運営方針を理解してもらい学校の活性化を図る。	○ PTA総会・保護者会へ出席しやすいような諸条件を整える。 ○ PTA会員（保護者）に喜んで来校していただけるような企画を考える。			B
		2 家庭・学校・地域との連携に努める。	○ PTA活動に対し、広報等で理解をしてもらい、保護者の参加を促す。			B
		3 PTA行事の内容の見直しに取り組む。	○ 本部役員の意見を取り入れ、運営が難しくなっている行事を改善する。			A
	同窓会	4 同窓会との連携を深め、学校の教育活動への協力体制を推進する。	○ 昨年度創立百周年が終了し、同窓会本部、各支部との連携を密にして次世代に華陵精神を残す。			B
工業教育	1 基礎的・基本的な知識・技能を習得させる。	○ 座学の学習内容・方法を精選し、適切な指導を図る。 ○ 各種の資格や検定試験に対して積極的に取り組みを行う。			B	
	2 さまざまな工業分野に対応できる能力や態度を育成する。	○ 実習における教育内容を検討し、生徒の実態に即した指導法（アプローチ）の検討・見直しを図る。 ○ 環境に合った「ものづくり」を意識した能力や態度を育成する。			A	
	3 専門分野の学習を通して自己実現を図り、専門性の深化を図る。	○ 地域と連携した体験活動やボランティア活動の充実を図る。 ○ 新教育課程を意識した新しい専門技術や教育内容を検討し、可能な限り先行して取り入れる。			A	
商業教育	1 基礎・基本的な知識及び技能の習得をさせる。	○ 座学・実習内容を精選し、基礎・基本的な指導の徹底を図る。 ○ 宿題等による家庭学習の充実を図り、効果的指導の向上を図る。 ○ シラバスの活用および系統立てた科目ごとに指導内容の研究および工夫を図る。			B	
	2 進路の実現に向けて、実践的・主体的な学習態度を養う。	○ 資格取得に向け計画的な科目指導・補習を充実させ、合格目標の達成を図る。 ○ 各種検定試験の日程・結果に対し担任・部活動顧問等の連携を図り、資格取得の意欲を向上させる。 ○ 校内外の商業関連行事に積極的な取り組みを行い、結果が出せる指導体制づくりの充実を図る。			A	
	3 経済社会に柔軟に対応できるためのビジネスマナー・コミュニケーション能力および実践的能力の育成をする。	○ インターシップを通して社会人としてのマナーを身につけさせ、異世代とのコミュニケーション能力の向上を図る。 ○ 総合的学習分野によるマナー教育の充実およびコミュニケーション能力の育成に努め、販売活動等の実践的な活用能力の育成を図る。			B	

学校関係者評価及び今後の課題	1	地域社会や地域の人の意見を、保護者や生徒を通して取り入れると良い。また、学校のしっかりした設計図を描いた上で土台作りをし、保護者に伝えるべきである。
	2	学校がどういう方向を目指すのか、学校の方向付けが大切である。
	3	「学校の教育目標や校長の経営方針を理解し、その実現に取り組んでいる」、という教員に対する質問項目の評価が高い。校長としてトップの姿勢を明確に伝えているからだろう。また、それが保護者に評価されているところが良い。
	4	生徒が主体的に取り組むような、生徒が乗ってくるような授業をしてほしい。生徒を意欲的にさせることが大切である。
	5	学校は勉強するところ、学習する姿勢を身につけさせてほしい。家庭学習をさせるためにはどうしたら良いのかを全職員で検討してほしい。
	6	工業科、商業科とも基礎基本の重視が挙げられているが、しっかり土台作りをしてほしい。
	7	7限目の授業は是非継続してほしい。特に3年生は必要である。
	8	生徒指導について様々な意見もあるようだが、校則を緩めないでこのまましっかり指導してほしい。
	9	定時制の生徒の定着率が（今年度の退学者が1名のみ）極めて高く、とても細やかな指導がなされているのだろう。生徒や保護者のアンケートからそれが良く読み取れる。

※学校関係者評価・・・保護者や地域住民、企業など、学校と直接関係のある者を評価者として、学校自己評価の結果及び今後の改善方策や重点目標、評価項目等のあり方について評価すること。